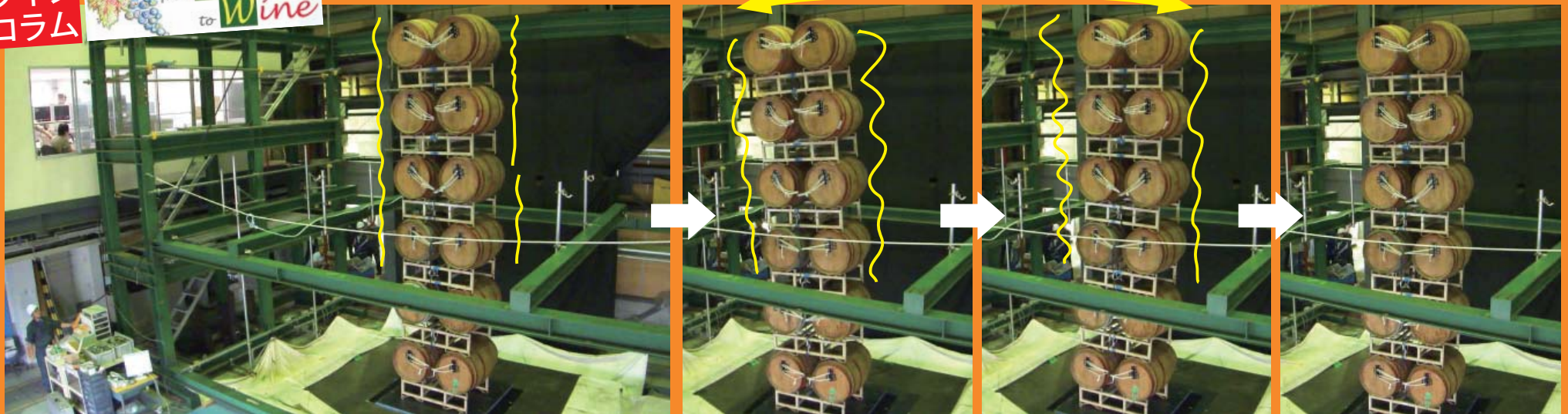


ワイン
コラム



阪神・淡路大震災で6段積みのワイン樽が崩れない?! 新しい床免震システム(京大防災研究所にて)



1. 床には免震システム「ミュソーレーター」(厚み僅か3mm!)が敷かれています。で、阪神・淡路大震災の揺れで加振。最初に細かな振動がきて、

2. 次に突然、大音響で巨大な突き上げと、水平方向の大揺れがやってくる。樽のラックも大きくゆらゆら揺れますが、

3. 約30秒間の強烈な揺れのあとも、6段のワイン樽は倒壊せず!

● 阪神・淡路大震災や新潟中越地震での清酒メーカー、醤油メーカーの被災、また今年のチリ地震でワイナリーに大被害が出たのは記憶に新しいところ。京都大学防災研究所で、新しい免震システム(アイディールブレン社 www.ibrain.jp/ の「ミュソーレーター」)の実験に立ち会いました。ご覧のような巨大な振動試験設備の上に、ワイン樽をラックで6段積みあげて実験。床にはシート状の新免震システムが敷いてあります。 ● 1995年の阪神・淡路大震災と同じ振動を与える実験で、信じがたいことに、樽は倒壊せず!! 阪神・淡路大震災の実体験者としては、地震波再現(マグニチュード7.3)を見て、こんなにすごかったか、と改めてぞっとしました。 ● この日は、ナパのワイナリー・オーナーの方も来られていて、1989年のカリフォルニアのロムプリータ地震波も再現実験しましたが、やはり倒壊せず。最後に、免震装置をキャンセルして阪神・淡路大震災の振動を与えると、上からすべて倒壊。作業員がいたら大惨事間違いなし。 ● 地震対策は酒類・醸造産業の大きな課題。タンクなどにも利用可能なこの技術は大きなポテンシャルを持っていると感じました。(協力:テクノアライアンス社、京都大学農学部・小田教授、ワイン樽協力:五一ワイン。このシステムに興味のある方はご照会ください。)

text= t.kita



今年2月の、マグニチュード8.8のチリ地震の状況を伝えるWine & Vines誌。チリは地震国で、近年建てられた住居は対策が進み被害は最小限だったが、ワイン産業の被害は3億ドルと甚大。写真のように、多くのワイナリーで樽やタンクは修復困難な被害を被った。